

第2回「文芸思潮」新人賞 中間発表

●第2回「文芸思潮」新人賞に御応募いただき、まことにありがとうございます。心から御礼申し上げます。去る四月三日に締め切らせていただき、厳正な一次・二次・三次予選審査を行いました。その結果を謹んでここに発表させていただきます。

無印は一次予選通過者、○印は二次予選通過者、◎印は三次予選通過者です。

- ◎「痛みについて」 松山尚紀
- 「私はレモン水しか飲んでいないわ」 三日月季衣
- ◎「希望、船晦。」 深井 眠
- ◎「逆転ホームラン」 紅露 牙
- ◎「捻り像」 いつき
- ◎「私の胃」 麦倉 尚
- ◎「夜落葉」 松元詩歩子
- ◎「天使が羽ばたく夜」 天花すずか
- ◎「傘は森を紡ぐ」 森久上水
- ◎「病んだ目」 山田栞里
- ◎「[mu:]」 熊本民業
- ◎「ツアーフアイナル」 佐秋
- 「嫌われじいちゃん」 村上富馨
- 「未必の恋」 杏仁五月
- 「[1+1=3]」 Misaki
- ◎「夜眠夢」 眠夢イ夜
- ◎「聖なる毒」 めぐちゃん
- ◎「アンチセクシャル・ユートピア」 保泉花衣
- 「ア」 「ピロードの朝」 義若ユウスケ
- ◎「早川サチのブラックホール」 高田拓夢
- ◎「独りでも真つ白でもないのに」 橋木正午
- ◎「順風満帆」 Shomin Shinkai
- ◎「飛来する者たち」 山科晃一
- ◎「弾き継ぎ」 織野 優
- ◎「オブジェクション」 幸村 燕
- ◎「ミミズの求婚」 天ヶ谷麗
- ◎「1991年の亡霊たち」 丹羽佑斗
- ◎「幸福な日々」 櫻庭拓実
- 「ずっと、ここであなたを見ていた。」 麦野 陽
- ◎「ンバ・ピティ」 中山喬章
- ◎「かの女の楽園」 水縹修一
- ◎「最後の原稿」 神楽鋼
- ◎「運命計画書」 米井暢成
- ◎「空の征服者」 昼寝トト
- ◎「時間ドロボウ」 武者落国太
- 「異国情緒と恋」 麗華

■応募者の皆様へ 第一次・第二次・第三次の選考について

「文芸思潮」銀華文学賞・新人賞への御応募まことにありがとうございます。第一次・第二次・第三次選考について選考委員会より付記させていただきます。

第一次の選考基準は、他者に伝わる文章になっているかどうかが最重の基準点となります。また書く姿勢を加味させていただきました。少し文章が粗くても、他者に訴えたい切実なものが感じられる作品は一次通過しています。また逆に文章を整っていても、書く姿勢が曖昧なもの、書く必然性が希薄なもの、中途半端なものは落とさせていただきます。この二点をクリアしたものが一次予選通過者です。何%とか、何篇以内とか、数字の枠はありません。したがって、応募者全員が一次予選合格ということもありません。

また第二次予選は、その中でさらに強く何かが感じられるもの、光るものを選ばれます。何かが読み手の中に残っている作品ということになります。一行でもいい、一人の人物でもいい、見方でもいい、何か一つ心に残るようなものがあると、上に

拾い上げたとくるといふ、一つの魅力を持つていかどうかのポイントになります。

第三次予選は、よりたくさんの人に読んでほしくなるような普遍的な力を備えているかが、選考の基準になります。第三次予選まで通過した作品は、ほぼ雑誌に載っていい、人に読んでもらっても何か訴える力を備えていて、読んだ人の心に何かが残って新たな力になるような作品です。

「文芸思潮」選考委員会では、選考の便宜性を重視して作品数によって制限するのではなく、作品の内容を重視して、優れた作品がたくさんあれば、できるだけその作品の価値やレベルによって、作品を残すよう心がけています。したがって、場合によってはたくさんの作品が三次予選、さらにその上に選出される可能性もあります。

どうかこれらの点を御了解くださいますようお願い申し上げます。

またご自身の文章力が具体的にどれくらいレベルか、文章力検定も併せてご利用いただけましたら、文章技量向上の一つの目安になると思います。

(銀華文学賞・新人賞選考委員会)